

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

炭焼きにハマる

ある冬の活動日、私はドラム缶の火を利用させてもらい、空き缶を使って松ぼっくり4、5個を焼いてみました。何の知識も無く火加減、焼き時間などは適当、「飾り炭を作る」そもその始まりでした。

炭の出来具合はOK?、未炭?、焼き過ぎ? 焼いた缶を開ける時のワクワク感がたまりませんでした。出来具合をほめられたり、アドバイスされたりして、これは、『いける!』、『おもしろい!』と、ハマってしまいました。材料は松ぼっくり、どんぐり、ミズナラ、モミジバフウ、竹、小枝、杉の葉、もみがらへと挑戦するようになり『飾り炭』がどんどん出来上がっていきました。

やがてSF出展作品にしよと思い、力が入っていきました。

単品でも、アケビのカゴに入れてアレンジしても、お客さんからの反応はとても良かったです。さらに、出展中偶然にこの飾り炭がフラワーアーティストの川崎景太さんの目にとまり飾り炭をたくさん欲しいとの要望があり、後日ご本人を炭小屋に案内することになり、自ら飾り炭作りを体験していただきました。近々出版される本に載せられるという予期せぬ展開となりました。

また最近特にお客さんの反応が良かったのが、『もみ殻くん炭』です。

もみがらは橋詰さんと竹内さんからの提供で、感謝しています。

もみ殻くん炭は1袋100g入りで、SFで60袋、庄戸のバザーで10袋、炭小屋前で15袋、があっという間に完売しました。

ただいま20袋の袋詰め作業中です。

飾り炭は繊細で壊れやすく取扱いに要注意な炭です。材料の準備から焼いて作品づくりまでの行程が楽しくて、ハマっています。

大越節子



7月運営会討議資料 および議事録 吉田 2016/7/25

7月20日(水) 炭小屋内作業

7月23日(土) ドラム缶炭焼き クヌギ林草刈り ZFC 通信印刷発送

7月27日(水) 炭小屋内作業 ←

7月30日(土) 炭だし 炭小屋裏間伐 柴高校体験13時から15時 クヌギ林枯木の伐倒

8月03日(水) 炭小屋内作業

8月06日(土) 炭小屋裏間伐 修理した指示板を立てる。

8月10日(水) 炭小屋内作業

8月13日(土) ツバキ伐倒 ~~運送~~

8月17日(水) 炭小屋内作業

8月20日(土) アラカン林伐倒 運営会 安全講習(藤原さん)(刃物の扱いと研ぎ)

8月24日(水) 炭小屋内作業

8月27日(土) 納涼会(森の家バレーペキュウ場) ZFC 通信印刷発送

8月31日(水) 炭小屋内作業

納涼会 会費 男子2000円 女子⁵⁰⁰1000円

申し込み 吉田まで 09015448249

締め切り 8月20日(土)

1. 発電機の選定。(16Aの物を扱ひ容易な発電機とする。

2. センターからの要望

1) ツバキの伐倒

2) タンボの道 やまもも、トウネズミの伐倒

3) タンボの道 しらかし等の草刈り。

4) クヌギ林平地のアズミネガサの刈取り。

5) クヌギ林枯木の伐倒

6) クヌギ林 1千本の実生の抜き取り。

7) 森入りのハリエンジュの伐倒。

2) 1) および 2) は 7月/8月に予定した。残りは今後スケジュールに入れたい。

3) 柴高校生夏季体験学習: 7月30日 午後13:30~15:00 沼尻から5へ6の
助成を依頼した。みなさんよろしく

以上